

防災意識を高めよう！



答志島の3地区の自主防災会とNPO法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿の主催で、いつ起こるかわからない地震・津波に対して防災意識を高めることを目的に「地震体験車・初めて海を渡るツアーin答志島」が開催されました。

11月14日は関連事業として高台への避難訓練や防災講演会などが行われ、翌15日には県内初の試みとして地震体験車が海を渡って答志島へ運び込まれ、島民や小学校児童らが最大震度7の揺れを体験しました。

体験した児童らは「思っていたよりも大きく揺れた」「地震体験車が島へ来てくれて嬉しかった」と話してくれました。

船津町で防災レクリエーション



船津町内会は10月31日、鳥羽レストパーク広場で「町民防災レクリエーション大会」を行い、町民など約120人が参加しました。

町民間のコミュニケーションを深めることを目的に開催しているものですが、今回は例年よりも防災面に重点を置き、宝釣りならぬ防災グッズ釣りや担架での救助体験、地震体験車による地震疑似体験などを行ったほか、市の防災対策室による自助・共助に関するお話もありました。

会長の坂倉正治さんは「町民の防災に対する意識が少しでも向上すれば」「今後も防災に関するさまざまな行事に取り組んでいきたい」と語ってくれました。

鳥羽産マコモが給食に！



高級食材として注目されているマコモ（イネ科の多年草で、新芽をマコモタケとして食用にする）を学校給食の食材として利用しました。

一般家庭には、まだなじみの薄い食材ですが、安楽島町在住の谷迫四男さんが、休耕地などを利用して栽培しています。

今回はそのマコモ20kgを寄贈していただき、「八宝菜」の食材として利用されました。新しい食感にこどもたちも舌を巻いていました。



若杉町で町民文化祭



若杉公民館で11月6日と7日の2日間、若杉町町民文化祭が開催されました。

これは、町民の文化活動の促進と、町民間のふれあいをテーマにしたもので、隔年で開催しています。

会場には、絵画や書道、貼り絵のほか、生け花や工芸品などさまざまな作品が展示され、たくさんの町民が見入っていました。